

鹿児島県侵略的外来種カルテ

平成30年3月

近隣地域からの侵入で広がりました。鹿児島県では重要防除種、環境省では特定外来生物に指定され、鹿屋市、東串良町で確認されています。希少植物の駆逐や通水障害の影響が出ています。外来生物法で、栽培や野外に捨てることは禁止されています。自己の管理する池や水田・水路などで生育を確認したら、水系を介して分布が広がらないように注意し、除去して処分して下さい。

1 基本情報

分類	
目・科名	アカバナ科
種名(亜種名)	ウスゲオオバナミズキンバイ
学名	<i>Ludwigia grandiflora</i> susp. <i>hexapetala</i>
環境省カテゴリ	特定外来生物 緊急対策外来種
県カテゴリ	重要防除種
由来	国外由来外来種
侵略的外来種番付表	前頭(本土)
番付表掲載の理由	知名度の高い外来種
その他カテゴリ (日本生態学会ワースト100/IUCN 世界の侵略的ワースト100)	—
侵入・定着の状況	
自然分布域	中南米
県内初報告	2009年に鹿児島県肝属川水系串良川の数力所で群生が確認された。
県内への侵入の経緯	近隣地域などからの侵入。
県内の侵入分布	鹿屋市、東串良町
全国の侵入分布	鹿児島県
生態学的特性	
生態	流れが緩やかな富栄養な環境を好む。
形態	多年生の浮葉～抽水～湿生植物。茎は高さ30～120cm。抽水型の葉は細長く、浮葉は楕円形～長楕円形。湿地に生育する茎葉には毛があり、白みがる。花は黄色。
繁殖形態	茎は地表あるいは水中をはいながら茎を立ち上げ、群落を広げる。
生息環境	湖沼や河川、水路など。
特記事項	特定外来生物なので、学術研究や教育などを目的として、あらかじめ申請して許可を取得した場合を除き、飼育、保管、生きたままの移動等はできません。



2 影響	
被害の実態・おそれ ①生態系にかかる被害 ②農林水産業への被害 ③人の生命身体への被害	①希少植物の駆逐。 ②通水障害。
県内で特に予想される被害	県内の希少植物の駆逐や通水障害。
被害をもたらしている要因 ①生物学的要因 ②社会的要因	①希少植物の駆逐。 ②近隣地域などからの侵入。
3 対策	
ウスゲオオバナミズキンバイを見つけたら	外来生物法で、栽培や野外に捨てることは禁止されています。自己の管理する池や水田・水路などで生育を確認したら、水系を介して分布が広がらないように注意し、除去して処分して下さい。
見分け方	浮葉の形態では類似種であるミズキンバイとの区別は難しいが、湿生形のヤナギ類に似た細長い葉と花弁先端が凹むに着目すれば見分けられる。
見かけやすい場所・時間	湖沼や河川、水路など。
防除方法	刈り取りや抜き取りによる防除。
防除の取組事例	滋賀県では、平成28年にオオバナミズキンバイの防除を実施している。
その他	—
参考資料・参考URL	環境省 日本外来種対策 特定外来生物の解説 http://www.env.go.jp/nature/intro/1outline/list/L-syo-13.html Nature of Kagoshima 鹿児島県自然環境保全協会 http://www.kagoshima-nature.org/category/back-number/ 滋賀県 第7回オオバナミズキンバイ除去大作戦 http://www.pref.shiga.lg.jp/d/shizenkankyo/files/akanoi.pdf 角野(2014)日本の水草. 文一総合出版. 東京